

愛知開催：インターンシッププログラム

■コース名

コース①：スクラムで進めるソフトウェア開発体験

■体験内容

スクラム開発を用いてPF(プラットフォーム)ソフトウェア開発を体験して頂けます。スクラム開発は、先行開発段階で開発効率を高めるための手段として注目を集めている開発手法です。PFソフトウェアは、全製品が効率よく開発できるようにするための重要な役割を果たすソフトウェアです。様々な開発手法がある中でスクラム開発を用いる理由や、PFソフトウェアの重要性について学ぶことができます。

■必要スキル

C言語によるプログラミング経験

■実施場所

本社（愛知県刈谷市）



■コース名

コース②：車載サイバーセキュリティ開発の学習・体験

■体験内容

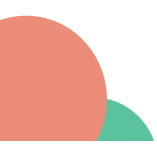

車載サイバーセキュリティのソフトウェア開発を体験して頂けます。自動車業界の変革「CASE」開発が加速する中で、自動車も外部ネットワーク繋がる製品が増えています。その中でサイバー攻撃に対する要求は、国際標準規格が制定され車載製品のソフトウェア開発において義務化されている技術です。そのサイバーセキュリティの重要性を実開発を通して学ぶことができます。

■必要スキル

C言語によるプログラミング経験

■実施場所

本社（愛知県刈谷市）





■コース名

コース③：先行開発製品のソフトウェア開発体験

■体験内容



当社では新しい製品の開発に興味がある学生を募集しています。
先行開発製品を題材に、設計からコーディング、テストまで、ソフトウェア開発の流れを体験していただきます。
新しい製品開発のプロセスに触れ、ソフトウェア開発の世界を垣間見るチャンスです。
チームワークとクリエイティビティが活かされるフィールドで、自分の可能性を広げませんか？

■必要スキル

- ・プログラミング言語や開発ツールに興味がある
- ・新しいテクノロジーに興味がある

■実施場所

本社（愛知県刈谷市）





■コース名

コース④：ボデー系製品(シート等)を題材とした制御ソフトウェア開発体験

■体験内容

ボデー系製品を題材とし、システムエンジニアとして実際の開発環境を使用してソフトウェアの設計開発(設計→実装→評価)を体験していただきます。

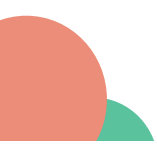

ボデー系製品は最もエンドユーザーに近い製品です。自分たちの考えた設計・実装が製品の動きにどのように反映されていくのかを、実際のモノの動きを見て、触れて、感じるすることができます。是非体験してみてください。

■必要スキル

- ・論理的に物事を考える力
- ・C言語でプログラムを組むことができる

■実施場所

刈谷開発センター（刈谷市）



■コース名

コース⑦：マルチビューカメラシステムを用いたHMI開発の疑似体験

■体験内容

人と車をつなぐHMI(ヒューマンマシンインターフェース)開発を実際の開発環境を使用し、設計→実装→評価の流れに沿って体験していただきます。

本コースではマルチビューカメラシステム(カメラ映像を組み合わせることでドライバーの死角を減らすことで運転負荷を軽減する機能)を応用した『3DViewのアニメーション改良』を体験していただきます。HMI開発ではシミュレータ環境でナビ画を再現しており、自分の変更が即座に確認できます。

■必要スキル

- ・論理的に物事を考える力
- ・C言語経験あり

■実施場所

刈谷開発センター（刈谷市）



■コース名

コース⑧：モデルベース開発を用いた製品開発疑似体験

■体験内容

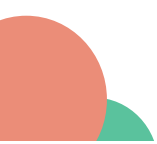

★自動車業界の制御開発では、モデルベース開発が現在注目を集めています★
快適なカーライフ提供のために、乗り心地や燃費性能等の向上に繋がるシフトチェンジに関わる製品のモデルベース開発（仕様から簡単なアルゴリズム設計を行いモデル実装、実機を使った評価）を、疑似体験していただきます。

■必要スキル

- ・論理的に物事を考える力
- ・プログラミング言語経験

■実施場所

刈谷開発センター（刈谷市）





■コース名

コース⑨：画像認識技術におけるSILS開発の体験

■体験内容

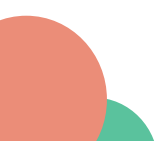

私たちの生活を快適にするため、近年の自動車には自動駐車やAEBなどの機能が備わっており、それらの機能にはカメラ映像を用いた画像認識技術が使われています。本コースでは、そのような画像認識技術の内の1つに触れていただきます。実際の業務において用いられているプログラムを使用した『画像認識技術の理解』『画像認識結果の可視化』により、SILS開発の一部を体験できるコースです。

■必要スキル

- ・ 論理的に物事を考える力
- ・ C言語経験

■実施場所

刈谷開発センター（刈谷市）



■コース名

コース①①：職場雰囲気および組み込みソフトウェアの開発体験

■体験内容

ブレーキ制御ソフトウェア開発現場を題材に、下記を目的としたプログラムです。

- ・職場の雰囲気を直接感じる
- ・車づくりや開発製品の魅力を知る
- ・組み込みソフトウェア開発工程を体験する

当社の開発者と直接交流しながら、座学や模擬ソフト開発体験を行っていただきます。

模擬ソフト開発では複雑なソフトを作り上げるのではなく、小規模な要件を題材にプロフェッショナルな開発工程を知ることには重きを置いています。

■必要スキル

- ・C言語でプログラムを組むことができる
- ・当社の開発者と積極的に会話する意欲がある

■実施場所

本社（刈谷市）



■コース名

コース⑫：新サービスを見据えた技術検証開発の体験

■体験内容

新領域開発推進部では自治体や製造現場へのソフト・サービス提供のほか、新しい技術の獲得や検証開発に取り組んでいます。

本コースでは、実際の業務で扱っている「小型モビリティの自動運転」の事例を題材としたAI技術に関する座学と検証開発を体験していただきます。



課題に対して仮説検証を行いながら解決していくという検証開発の楽しさを一緒に体験してみませんか？

■必要スキル

- ・ 論理的に物事を考える力
- ・ Python言語経験

■実施場所

本社（刈谷市）



札幌開催：インターンシッププログラム

■コース名

コース⑩：ルート探索Webアプリ開発体験

■体験内容

ブラウザ上でカーナビのような地図表示及びルート探索を行える簡易的なWebアプリ開発を行います。設計、製造、テストの一連のプロセスを体験していただくことができ、作成したアプリを目で見て動作が確認できるため達成感を感じられます。

<作成するアプリ概要>

- ・出発地と目的地を指定し、指定された探索エンジンへリクエストを送る。
- ・探索エンジンから返却されたレスポンス情報を解析し、Webブラウザ上にルートを描画する。

■必要スキル

論理的に物事を考える力
Python言語経験

■実施場所

札幌オフィス（北海道札幌市）

■コース名

コース⑫：新サービスを見据えた技術検証開発の体験

■体験内容

新領域開発推進部では自治体や製造現場へのソフト・サービス提供のほか、新しい技術の獲得や検証開発に取り組んでいます。

本コースでは、実際の業務で扱っている「小型モビリティの自動運転」の事例を題材としたAI技術に関する座学と検証開発を体験していただきます。

課題に対して仮説検証を行いながら解決していくという検証開発の楽しさを一緒に体験してみませんか？

■必要スキル

- ・ 論理的に物事を考える力
- ・ Python言語経験

■実施場所

札幌オフィス（北海道札幌市）

盛岡開催：インターンシッププログラム

■コース名

コース⑤：ボデー系製品(ドア等)を題材とした制御ソフトウェア開発体験

■体験内容

ボデー系製品を題材とし、システムエンジニアとして実際の開発環境を使用してソフトウェアの設計開発(設計→実装→評価)を体験していただきます。

ボデー系製品は最もエンドユーザーに近い製品です。

自分たちの考えた設計・実装が製品の動きにどのように反映されていくのかを、実際のモノの動きを見て、触れて、感じるすることができます。是非体験してみてください。

■必要スキル

論理的に物事を考える力

C言語でプログラムを組むことができる

■実施場所

盛岡開発センター（岩手県盛岡市）

福岡開催：インターンシッププログラム

■コース名

コース⑥：ATを題材にした制御ソフトウェア開発体験

■体験内容

パワートレイン製品(オートマチックトランスミッション)を題材とし、システムエンジニアとして実際の開発環境を使用してソフトウェアの設計開発(設計→実装→評価)を体験していただきます。パワートレイン系の製品は車両の動力伝達を担当する重要な部品です。自分たちの考えた設計・実装が製品の動きにどのように反映されていくのかを、実車を模したシミュレーション環境で変更前後の動きを確かめていただきます。

■必要スキル

論理的に物事を考える力
C言語でプログラムを組むことができる

■実施場所

福岡開発センター（福岡県福岡市）